

IT用語集

<あ～わ>

アウトソーシング【Outsourcing】

資源の有効活用、費用の削減を目指して業務を外注すること。直訳的には、「外部の供給源の活用」である。何をどのように供給してほしいのかによって、さまざまな形態をとって実現する。一般的には企業活動で必要となる機能の一部を企業の外部で実現することを指し、日本語としては「外注」「外部委託」「戦略的提携」「分社化」など、さまざまな形があり得る。インターネットの普及によって高機能な通信サービスが利用可能になったことと、コスト削減の圧力が高まったことなどにより、ますます重要性が高まっている。

アーカイブ【archive】

大規模な記録や資料のコレクション。デジタル-データ化しての保存と世界的な相互利用が図られている。

アクセシビリティ【accessibility】

利便性。交通手段への到達容易度。ある地点や施設への到達容易度。

アクションプラン【action plan】

当面する重要課題に正面から向き合い、的確に対応していくための施策づくりを行う施策。

アプリケーション【Application】

ワープロや表計算、データベースなどコンピュータを使って、文書や表、データベースを作るなど、それぞれの目的を実現するためのソフトのこと。アプリケーション・ソフトウェアというのを略した言い方。また、さらに略されて「アプリ」と略されて呼ばれることも多い。パソコンの基本的な機能を実現する基本ソフト「OS」や周辺機器を制御するソフト「ドライバ」、パソコンの細かな設定を変更する「ユーティリティ」などとアプリケーションは区別されている。

インターラクティブ【Interactive】

対話しながら情報を的確に伝える。ソフトとハードを融合させ、効率の良いマンマシンインターフェースを実現することで子どもから老人まで、楽しく触れる情報伝達システムを目指します。

インターネット【internet】

- (1) 複数のコンピュータ-ネットワークを相互に接続して、全体として一つのネットワークとして機能するようにしたもの。インターネットワーク（internet work）とも。
- (2) アメリカ国防省の高等研究計画局の支援を受けたアルパネット（Arpanet）から発展した地球規模のネットワーク。通信回線を介して、世界各地の個人や組織のコンピュータがつながっている。たんにネットともいう。

インテグレーション【integration】

さまざまな教科や教材を一貫して組織化すること。統合化すること。

インフラ【Infrastructure】

生産や生活の基盤を形成する構造物。ダム・道路・港湾・発電所・通信施設などの産業基盤、および学校・病院・公園などの社会福祉・環境施設がこれに該当する。社会的生産基盤。

ウェブ【Web】

WWW（World Wide Web）が正式名称。インターネットやイントラネットで標準的に用いられるドキュメントシステムのこと。HTML という言語で文書の論理構造や見栄えを記述し、文書の中に画像や音声など文字以外のデータや、他の文書の位置（ハイパーリンク）を埋め込むことができる。

オフィスオートメーション【office automation】

会社の事務部門における能率向上のために行われる自動化。特に、パソコン・ファクシミリ・ワード-プロセッサなどの導入により、書類の作成・保存・検索・送付などの事務を合理化することをいう。

オンデマンド【on demand】

下線のある用語は、【IT用語集】に掲載してあります。

利用者の注文に応じて、指定された音声や画像情報を提供する、ネットワーク上のサービス。

ガイドライン 【guideline】

政府や団体が指導方針として掲げる大まかな指針。

グループウェア【Group Ware】

コンピュータネットワークを利用して、複数の人間からなるグループでの情報共有、およびそれらの相互作用を円滑化するソフトウェアの総称。代表的なグループウェアの機能としては、電子会議室、ドキュメントデータベース、電子メール、ワークフロー管理、スケジュール管理などがある。

公的個人認証サービス

行政手続のオンライン化の進展に伴い、個人がインターネットを利用して、行政機関に対して電子申請・届出等を行う機会がますます増大していきます。こうした電子申請・届出等については、

- 1、申請者が本人であること
- 2、申請内容がオンラインの途中で改ざんされていないこと

を保証するサービスが不可欠となります。

公的個人認証法に基づき実施される公的個人認証サービスは、このような課題に対応するため生み出されたものでありますが、サービス開始に向けて現在準備が進められております。

コミュニティ 【community】

(1)人々が共同体意識を持って共同生活を営む一定の地域、およびその人々の集団。地域社会。共同体。(2)転じて、インターネット上で、共通の関心をもちメッセージのやりとりを行う人々の集まり。

コミュニケーション 【communication】

人間が互いに意思・感情・思考を伝達し合うこと。言語・文字その他視覚・聴覚に訴える身振り・表情・声などの手段によって行う。

コンサルティング 【consulting】

専門的な事柄の相談に応じること。

下線のある用語は、【IT用語集】に掲載してあります。

コンテンツ【Contents】

「contents」は「内容」の意味で、コンピュータ関連では、情報サービスの内容を指す。具体的には、CD-ROM タイトル、商用 BBS などの情報サービス、WWW による情報サービスなどを指す場合が多い。

サービスレベルアグリーメント【service level agreement】

サービス提供者と利用者との間でサービス内容に関し明示的になされた合意。特に通信サービス事業者に多くみられ、具体的なサービス内容を定量的に明文化し、提供者はこれを保証することで他の事業者との差別化を図ることや、サービスに応じた適正な対価を求めるためなどに導入される。SLA。

システムインテグレータ【system integrator】

ユーザの用途に合わせてコンピュータのハードウェアとソフトウェアを組み上げることを業務とする企業、また専門家。インテグレータ。

情報リテラシー【Information Literacy】

情報を使いこなす能力のこと。体験やメディアを通じて得られる大量の情報の中から必要なものを探し出し、課題に即して組み合わせたり加工したりして、意思決定したり結果を表現したりするための基礎的な知識や技能の集合である。

スクラップアンドビルド【scrap and build】

採算や効率の悪い部門を整理し、新たな部門を設けること。

セキュリティ【Security】

コンピュータシステムの安全を守ること全般を指す。人的な破壊行為や事故からデータを守るとともに、データの内容を不正に利用されないようにすることを含む。

セキュリティポリシー【Security Policy】

組織全体の情報セキュリティに関する基本方針のこと。広義には、セキュリティ対策基準や個別具体的な実施手順などを含む。どの情報を誰が読み取れるようにするか、どの操作を誰に対して許可するか、

下線のある用語は、【IT用語集】に掲載してあります。

どのデータを暗号化するかなど、情報の目的外利用や外部からの侵入、機密漏洩などを防止するための方針を定めたもの。

総合行政ネットワーク

【LGWAN; Local Government Wide Area Network】

地方自治体などが個別に運用するローカル-エリア-ネットワーク（LAN）を相互接続した広域ネットワーク（WAN）のこと。2001年（平成13）3月にIT戦略本部が決定したe-Japan戦略重点計画などに基づいて整備されるもの。同年10月に本運用を開始。

ソフトウェア【software】

- (1) コンピュータシステムに関係するプログラム。システムの運用に関する文書化された情報を含めることもある。ソフト。
- (2) 映像・音楽・マルチメディアなどの作品。
- (3) 特にハードウェアに対して、知識、思考による産物を集積したもの。

ダウンサイジング【downsizing】

コスト削減などのため、小型化・軽量化すること。特に、大型の汎用コンピュータに変えて、ワーク-ステーションやパソコンを採用すること。

データセンター【Data Center】

顧客のサーバを預かり、インターネットへの接続回線や保守・運用サービスなどを提供する施設。「インターネットデータセンター」（IDC）とも呼ばれる。耐震性に優れたビルに高速な通信回線を引き込んだ施設で、自家発電設備や高度な空調設備を備え、IDカードによる入退室管理やカメラによる24時間監視などでセキュリティを確保している。流れの速いインターネットビジネスの世界では、中核業務以外はアウトソーシングして組織を身軽にすることが競争力につながるため、インターネットの普及に伴ってデータセンターの需要はますます増大している。

データベース【Database】

複数のアプリケーションソフトまたはユーザによって共有されるデータの集合のこと。また、その管理システムを含める場合もある。

下線のある用語は、【IT用語集】に掲載してあります。

データベースの操作や保守、管理をするためのソフトウェアを DBMS と呼び、大規模システムでは Oracle 社の Oracle が、小規模システムでは Microsoft 社の Access が、それぞれ市場の過半を占めている。

デジタル・コンテンツ【digital contents】

インターネット・DVD・デジタル放送などのデジタル-メディアによって提供可能な情報やサービスのこと。DVD で提供される映画や、インターネット上で提供されるネットワーク-ゲームなど。

デジタル・デバイド【Digital Divide】

デジタル技術（いわゆる IT）の普及に伴い、所持、年齢、教育レベル、地理的要因等により、その利用及び習得する機会に格差が生じた状態。社会問題として認識されつつあり、この問題を端的に「デジタル・デバイド」と呼ぶ。

デジタルデモクラシー【Digital democracy】

電子民主社会の意で、IT を活用することによって国民や住民が直接行政に参加する民主政治形態を指す。インターネット技術を利用することで、電子選挙や電子投票、公共情報の知的共有、公聴会・協議会運営、政策立案・執行、地域問題の解決等に、国民や住民の直接参加を可能とする。

統合型 GIS【geographic information system】

地図情報システム。デジタル・データ化した地図上に、道路や建物に加え、水道管、ガス管、電話線などのライフラインや、土地の所有権情報などを蓄積するシステム。

ノンストップサービス

公開用端末やインターネット等のネットワークを活用することにより、行政の様々なサービスを 24 時間 365 日休まずに提供すること。

バックオフィス【back office】

企業などで営業や生産部門また経営中枢に対し、事務処理部門のこと。

ハード/ハードウェア【Hardware】

コンピュータを構成している電子回路や周辺機器などの物理的実体のこと。これに対し、コンピュータを制御する手順・命令をまとめたものをソフトウェアと呼ぶ。ハードウェアは大きく分けて、プログラムに従ってデータの加工や演算を行なう処理装置と、プログラムやデータの保存を行なう記憶装置、人間がデータや指示の投入を行なうための入力装置、処理結果を外部に知らせる出力装置の4種類がある。現在使われているコンピュータの多くは、処理装置にマイクロプロセッサ、記憶装置に半導体メモリや磁気ディスク、入力装置にキーボードやマウス、出力装置にプリンタやディスプレイを用いる。

パブリックコメント【public comment】

行政などが規制の設定や改廃をするとき、原案を公表し、国民の意見を求め、それを考慮して決定する制度。1999年（平成11）から全省庁に適用された。ノーティス-アンド-コメント。

バリアフリー【barrier free】

「障壁のない」の意。建築設計において、段差や仕切りをなくするなど高齢者や障害者に配慮をすること。

汎用機

汎用機とはバッチ処理（一括処理）リアルタイム処理（即時処理）など、広い範囲の問題を解決するプログラムを実行できるコンピュータのことを指します。メインフレームとも呼ばれています。

表計算ソフト

数値データの集計・分析に用いられる作表アプリケーションソフト。縦横に並んだマス目（セル）に数値や計算ルールを入力していくと、表計算ソフトが自動的に数式を分析し、所定の位置に計算結果を代入してくれる。セルが並んだ表を「スプレッドシート」と呼び、表計算ソフト自体をスプレッドシートと呼ぶこともある。

Microsoft社の「Microsoft Excel」が表計算ソフトのシェアの大半を占めているほか、Lotus社の「1-2-3」などが著名な表計算ソフトとして知られる。

ファイアウォール【fire wall】

下線のある用語は、【IT用語集】に掲載してあります。

コンピュータやネットワークを、外部からの不正な侵入から守るための防御システム。

プラットフォーム 【platform】

アプリケーション-ソフトを稼働させるための基本ソフト、またはハードウェア環境。

プライバシー 【privacy】

私事、私生活、秘密の意味。また、私生活上の秘密と名誉を第三者におかされない法的権利のことをいうこともある。

ブロードバンド 【broadband】

データ伝送の分野において、広帯域のこと。狭義には、複数の信号を同一の伝送路（ケーブルなど）で送る方式を指す。近年は、単に高速度で大容量のデータ転送のことを指すことが多い。動画の伝送など、ネットワーク上の高度なサービスを実現する。

プロポーザル 【proposal】

提案。申し込み。

フロントオフィス【front office】

企業の中で、営業部門やコールセンターなど顧客に直接対応する部門のこと。

ベンダ 【vendor】

ユーザに製品（ハードウェアやソフトウェア）を販売する際、そのブランドに責任を持つメーカーあるいは販売会社。

ホームページ【HP：Home Page】

Web サイト、もしくはそのトップページのこと。サイトのトップではない Web ページをホームページと呼ぶこともある。また、Web ブラウザを起動したとき最初に表示されるページのこと。当初は、ブラウザ起動時に最初に表示されるページの意味だったが、転じて Web サイトのトップページのことを意味するようになり、さらに、Web サイト・Web

下線のある用語は、【IT用語集】に掲載してあります。

ページの同義語として用いられるようになった。

ポータルサイト【Portal Site】

ポータル (portal) は本来、「入り口、玄関」といった意味の英単語。転じて、インターネットブラウザを立ち上げたときに最初にアクセスするウェブページを指すようになった。現在、ポータル市場はし烈な勢力争いが繰り広げられており、キーワード検索機能やさまざまな情報を統合して提供するものが多い。また、注目の電子商取引サービスやインターネット上でのオークションなど、新たなサービスの導入も目立っている。

マルチメディア【multimedia】

デジタル化された映像・音声・文字データなどを組み合わせて、総合的なメディアとして利用すること。

メディア【Media】

フロッピーディスクや CD-ROM など、データを記録しておくための記録媒体。磁氣的、または光学的に記憶を行なうものが主流であるため、薄い円盤(ディスク)状のものが多い。フロッピーディスクや MO などは、記録面の保護のためにディスクをプラスチック製の正方形のカバーで包んだ構造になっている。

モニタリング【monitoring】

日常的・継続的な点検のこと。企業の消費者調査や社会福祉において、関係者のサービス評価などの際に行われる。

モバイル【mobile】

オフィスや自宅以外の場所から、携帯型パソコンや携帯電話・PHS などを使い、ネットワークを通じて情報をやりとりすること。また、それに用いる機器のこと。

ユーティリティー【utility】

役に立つこと。役に立つ度合。有用性。

ライフサイクル【life cycle】

下線のある用語は、【IT用語集】に掲載してあります。

商品が市場に登場してからやがては他の商品に駆逐されるまでの過程。商品の寿命。

ワークフロー 【workflow】

オフィスの業務に関連する情報の流れをコンピュータで管理すること。部門間の連携ミスを防いだり、作業効率の向上などをめざして行われるもの。リエンジニアリングの一環として導入される。

ワンストップサービス

一度の手続きで、必要とする関連作業をすべて完了させられるように設計されたサービスのこと。特に、様々な行政手続きをいっぺんに行なえる「ワンストップ行政サービス」のことを指す場合が多い。

< A ~ Z >

B P R 【business process reengineering】

ビジネス・プロセス・リエンジニアリング。1990年代、アメリカで企業経営の抜本的な立て直し策として生まれた考え方。業務の流れ（ビジネス-プロセス）や組織構造を抜本的に再構築することに重点をおく。

C S S 【client server system】

クライアント・サーバ・システム。コンピュータでファイル管理・通信・印刷などのサービスを提供するコンピュータシステム（サーバー）とサービスを受け取る多数のパソコン・ワークステーションなどのシステム（クライアント）から構成され、分散処理を行うシステム。

C S V 【comma-separated value】

コマー・セパレーテッド・ヴァリュウ。データベースなどで、各項目のデータをカンマで区切ったテキスト形式のファイル。

e - J a p a n 戦略

平成 13 年 1 月、総理大臣の諮問機関である「IT 戦略本部」において決定された「我が国が 5 年以内に世界最先端の IT 国家になる」という目標を掲げた基本方針のこと。

e - J a p a n 戦略

IT 戦略本部が平成 15 年 7 月に発表した「e-Japan 戦略」に続く次期 IT 戦略のこと。e-Japan 戦略に加えて、e-Japan 戦略 を遂行することによって、e-Japan 戦略で掲げられた「5 年以内（2005 年）に世界最先端の IT 国家となる」という大目標を実現するとともに、2006 年以降も世界最先端であり続けることを目指す。

G I S 【global information system】

全地球的情報システム。地球全体に張りめぐらされた情報網によりデータ交換・交信などを世界各地の間で可能にしようとする構想。

I C カード

IC（集積回路）を組み込んで情報容量を大きくしたカード。キャッシュカード・クレジットカードなどに利用される。

I T 【Information Technology】

インフォメーション・テクノロジー。「情報通信技術」の略。コンピュータやデータ通信に関する技術を総称的に表す語として用いられる場合が多い。

I S P 【internet service provider】

インターネット - プロバイダー インターネットへの接続サービスを提供する団体。営利を目的とするプロバイダーは第 2 種通信事業者の登録が必要。

L G W A N 【 Local Government Wide Area Network】

= 総合行政ネットワーク

O A 【office automation】

= オフィースオートメーション

下線のある用語は、【IT用語集】に掲載してあります。

P F I 【private finance initiative】

プライベート・ファイナンス・イニシアチブ。これまでの公的部門による社会資本の整備・運営に民間資本や経営ノウハウを導入し、民間主体で効率化を図ろうという政策手法。イギリスで用いられているが、日本でも 1999 年（平成 11）、PFI 推進法（民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律）制定。

W e b 【WWW [world wide web]】

= ウェブ